



2022年8月5日
株式会社 阿波銀行

有限会社椅子徳製作所の「SDGs 宣言書」策定について
～ お客さまのSDGs 達成への取組みを幅広くサポートします ～

阿波銀行（頭取 長岡奨、本店：徳島県徳島市）は、SDGs の達成に向けて取組む企業を積極的に支援するため、「あわぎん SDGs 対応度診断サービス」を取扱っています。今回、有限会社椅子徳製作所（代表取締役 鷺池 博行、本社：徳島県徳島市）が、当サービスを通じ、「SDGs 宣言書」を策定されましたので、お知らせいたします。

SDGs や ESG への関心が高まるなか、経営課題の発見や新規事業の創出、企業イメージの向上に繋がることから、多くの企業が SDGs 経営に取組み始めています。

当行は、SDGs の達成に向け、企業の方々と一緒に取組む伴走支援を行っています。今後さらに、お客さまの SDGs 達成に向けた支援を通じて地域経済の発展や産業振興に貢献し、魅力ある持続可能な地域社会の実現に向けて取組んでまいります。

【企業概要】

| | |
|-----|------------------|
| 企業名 | 有限会社椅子徳製作所 |
| 所在地 | 徳島県徳島市津田海岸町5番75号 |
| 代表者 | 鷺池 博行 |
| 業種 | 家具の製造および販売業 |
| 設立 | 1971年3月1日 |

○あわぎん SDGs 対応度診断サービス

当サービスは、SDGs の達成に向け取組む企業をサポートするため、①SDGs 対応度診断チェックシート（※）によるお客さまの取組状況の評価（評価レポート作成）、②現状認識（評価レポート）を踏まえ、お客さまとの対話による具体的な取組み内容（SDGs アプローチシート）の策定、③環境・社会・経済の3側面でのアプローチシートを基にした「SDGs 宣言書」の策定、をご提供するものです。

また、「SDGs 宣言書」策定後も、取組み内容の継続的なサポートや再評価等により、SDGs の達成に向けた実効性の高い取組み支援を行ってまいります。

※本サービスで使用するチェックシートは地域の課題等を盛り込み、SOMPO リスクマネジメント株式会社と当行が共同開発したものです。

SDGs宣言書

2022年8月5日



有限会社椅子徳製作所 代表取締役 鷺池 博行

当社は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行ってまいります。

| 項目 | テーマ | 取組み内容 | ①取組みと②数値目標 | SDGsのゴール | |
|----------|--------------|---|--------------------------------------|---------------------|-----------------|
| 社会・経済 | ハラスメントの禁止 | 社内におけるあらゆるハラスメント防止の活動を行い社員がのびのびと働ける職場環境の整備に努めます。 | ① 若手社員が中堅社員の評価をつけるなど、ハラスメント防止の仕組みづくり | 5 ジェンダー平等を実現しよう | 10 人や国の不平等をなくそう |
| | | | ② 2024年度までに制度を策定、社員へ通知 | 8 働きがいも経済成長も | |
| 社会・経済 | 地域活性化・産業振興 | 持続可能な地域づくりのため、地域の社会的・経済的な活性化の取組みを行います。 | ① 木材や革の端材を用いた工作教室の企画 | 11 住み続けられるまちづくりを | |
| | | | ② 年1回イベント実施 | 17 パートナシップで目標を達成しよう | |
| 環境・社会・経済 | リスクマネジメントの実施 | 持続的な事業活動のために、自社の業務において発生しうるリスクを認識し、あらゆる対策に努めます。 | ① 外部アドバイザーによるリスクの洗い出し | 9 産業と技術革新の基盤をつくろう | |
| | | | ② 2024年度までにリスクの洗い出し作業を実施。改善計画策定 | 16 平和と公正をすべての人に | |
| 社会・経済 | SDGsの取組みの表明 | 会社としてSDGsに取組むことを決め、その社会的な意義や自社にとっての目的を従業員に伝え、社会貢献します。 | ① SDGs活動報告会の開催 | 8 働きがいも経済成長も | |
| | | | ② 従業員への周知、報告会を月1回実施 | 17 パートナシップで目標を達成しよう | |

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。